

社団法人 日本経営工学会
第 30 期 第 4 回理事会だより

第 30 期第 4 回理事会が、平成 22 年 1 月 23 日（土）、14:00～18:00 まで、大阪センター毎日インテシオ 3 階にて開催され、理事 11 名、監事 2 名、オブザーバー 1 名が出席しました。

議事録署名人には、金子勝一氏、曹徳弼氏の 2 名が選任されました。

議決事項

1. 第 2 回議事録・理事会だよりの件（庶務）

庶務担当理事から資料に基づき報告があり、文言の修正の後、原案が承認されました。

2. 入退会の承認（会員）（資料 4－2：回覧）

庶務担当理事（会員担当理事の代理）より資料 4－2 に基づき現時点での会員数の説明（正会員入会 9 名（内、正会員復活 1 名）、結果正会員 9 名増、学生会員入会 4 名、結果学生会員 4 名増）がありました。

協議事項

1. 定款、規定、細則の改定について（庶務）

庶務担当理事より、資料に基づき各委員会に関連する規定、細則の見直しの依頼がありました。これに関連して、副会長より定款、規定、細則、さらには議事録、対外的な文書を含めた文書管理規定の検討が必要であるとの提案がありました。

2. 新公益法人移行への対応（新組織・新定款）について（副会長）

副会長より、資料に基づいて新公益法人移行への対応（新組織・新定款）に関して説明があり、まずは今年内に一般社団法人への移行を目指して手続きを行っている旨の報告がありました。資料に示された新定款の改正案については、特に会長選出に関しては従来の方式に準拠することに決定し、詳細については今後も継続審議とすることとしました。また、継続審議となっていた事務局制度については新法人化の業務に限ることとし、申請業務の外注化については承認されました。

3. 日本経営工学会論文誌英文号関連協議事項について（論文誌）

論文誌担当理事より、資料に基づき英文号の活性化の必要性について説明があり、1) 海外からの入会の利便性の向上については提案の内容を進めてもらうこととしました。2) C I N I I での論文公開の早期化については承認し、有料化については論文誌編集委員会と経営システム誌編集委員会の両委員会ですり合わせを行うことが依頼されました。

4. 研究部門制導入に係わる今後の取り組みについて（研究）

研究担当理事より、資料に基づき研究部門制についての説明があり、提案通り承認されました。

5. 経営システム誌規定改定について（経営システム誌）

経営システム誌編集担当理事より、資料に基づき規定の改正について説明があり、以下のことが承認されました。1) 規定類の構造を規定-細則-内規とすること。2) 100 年周期の事業として連載記事をベースとした本を出版すること。3) 表紙のデザイン変更を今年度予算で行うこと。

6. 60 周年記念事業について（副会長）

副会長より、資料にもとづいて 60 周年記念討論会・講演会についての説明があり、若干の修正を加えて原案を承認しました。

7. 平成 22 年度予算編成について（財務）

財務担当理事より資料に基づき平成 22 年度予算案についての説明がありました。まだ不十分な点のあるために、各理事と連絡を取合って 3 月の理事会までに予算案を完成させるように依頼

しました。

報告事項

1. 論文誌掲載料・別刷り代請求一覧
2. 2009 年度秋季大会の収支報告と 2010 年度春季大会の申し込み方法
3. JABEE 創立 10 周年記念行事の報告
4. 経営高度化の知の統合に関わる調査研究会の発足（横幹連合）

※次回第 5 回理事会は，平成 22 年 3 月 27 日に日本大学経済学部 3 号館 4F 会議室にて 13 時より開催する予定です。

※次々回第 6 回理事会は，平成 22 年 5 月 5 日に国際文献印刷社江戸川分室にて，13 時より開催する予定です。